

平成27年度 第2回桜井市地域公共交通活性化再生協議会会議要旨

- 日 時 平成27年10月28日(水) 午後3時
- 場 所 桜井市役所 本庁 3階 第1会議室
- 出席者 協議会委員12名(うち、代理出席者4名) 事務局4名
- 会議内容

挨拶 桜井市副市長 笹谷 清治

議案説明

1) 平成26年度の桜井市公共交通についての実績報告

【事務局説明】

- ・ 資料により説明

【意見】

- ・ 市全体の人口変化だけでなく、次回からは大字ごとの人口変化もデータに追加し、より精度の高い分析を行うべきである。
→参考にさせていただく
- ・ 朝倉台線の利用者数が増加している原因として地元自治会の協力とあったが、具体的にどのような取り組みがされているのか教えてほしい。
→公共交通に対する住民意見の収集や、回覧板等でコミュニティバスのお知らせをするなど、定期的に公共交通に対する意識の向上を図っていただいている。

異議なく、承認される。

2) 大豆越のバス停設置について

【事務局説明】

- ・ 資料により説明

【意見】

- ・ バス停「大豆越」はバスベイがあるのか教えてほしい。
→バスベイはないが、道路幅員が広く見通しもいいので、運行上の安全面は確保されている。

異議なく、承認される。

3) 「なら食と農の魅力創造国際大学校」実践オーベルジュへのコミュニティバス実証運行について

【事務局説明】

- ・ 資料により説明

【意見】

- ・ バスの停車位置について詳しく教えてほしい。
→施設の玄関前のロータリーを時計回りに回り、身体障害者向け駐車場の南側の広いスペースに停車する。
- ・ 運行時間帯について、運行間隔が1時間しかないため、食事のための利用がしづらいのではないか。間隔を1時間半程度にするのが適正だと思われる。
→運行時間帯については、オーベルジュと県の担当課（なら食と農の魅力創造国際大学校・農業研究開発センター開設準備室）と協議し、この時間に決定した。今回の意見は、県の担当課に伝えさせていただく。
- ・ 運行期間は未定とあるが、大学校の開校日（平成28年4月1日）より前に運行するのか。また、運行は土日祝日になるのか。
→運行期間は、平成28年の1月～2月頃を予定している。桜井飛鳥線の車両に空きが生じるのはオフシーズンの土日祝日限定であるため、市としては土日祝日の運行を想定していたが、オーベルジュ側としては、定休日（月曜日・火曜日）を除く平日も含む1か月間程度の連続した期間を希望しており、現在調整中である。
- ・ 運賃はいくらになるのか
→現在調整中である。

- ・ 運行期間・運賃の決定はいつ行うのか
→平成27年以内に決定し、委員の皆様には書面にて承認していただく。

- ・ 運行ルート上にカーブミラーが必要であると思う
→警察と協議する。

異議なく、承認される。

4) 観光路線の利用振興について

【事務局説明】

- ・ 資料により説明

【意見】

- ・ 全体的な方針は理解できたが、協議会としていつまでに何を決めたらいいのかがわからない。また、他団体との連携も必要だと思うので、スケジュール感やスキームを整理していただきたい。
→次回以降の協議会では具体的な議論ができるよう準備させていただく。
- ・ 関東から関西に来るお客様はJRの利用が多く、近鉄線の利用を避ける傾向にあるが、京都から桜井までは近鉄線の方が早く移動できるため、広報を強化すべきである。また、JRと近鉄線の結節点である桜井駅の利便性を高めるためには近鉄特急の停車が不可欠である。
→参考にさせていただく。
- ・ 観光バスで観光に行くことはあっても、旅行先で路線バスやコミュニティバスに乗ることは少ない。もっと交通網を整備し、観光客の多い奈良市で広報を行うべきである。
→参考にさせていただく。
- ・ 桜井市はまちづくりや観光に携わる団体がそれぞれバラバラに活動しているため、もっと桜井市に観光客を呼ぶためには各団体が一体となって取り組むべきである。
→参考にさせていただく。

5) その他報告案件（バス車内放送についての報告）

【事務局説明】

- ・ 資料により説明

【意見】

- ・ 桜井駅のスーパー「まねき屋」が閉店したことにより、デマンドタクシーをスーパーセンターオークワやヤマトー桜井南店にも停車してほしいという要望が出ている。
→今後、上之郷と高家の区長と共に検討する。
- ・ 高家のデマンドタクシーは、1月に2～3人しか乗っていないため、別の交通手段を検討した方がよいと思われる
→参考にさせていただく。